



## 各位

会社名 株式会社シーエーシー  
 代表者名 代表取締役社長 光山 治雄  
 (東証1部 コード番号 4725 )  
 問合せ先 常務取締役 島田 俊夫  
 責任者 経営統括本部長  
 (電話 03-3263-7241)  
 URL <http://www.cac.co.jp>

### 当社子会社、および当社の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、当社子会社である株式会社アイ・エックス・アイ(大阪証券取引所ヘラクレス市場、3月期決算)、および当社の2003年度中間期の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### ・子会社(株式会社アイ・エックス・アイ)の業績予想の修正

2003年5月6日に発表した、2003年度(平成16年3月期)の中間期業績予想(2003年4月1日~2003年9月30日)を、別添資料のとおり修正いたします。

#### ・当社の業績予想の修正

2003年2月13日に発表した、2003年度(平成15年12月期)の中間期連結業績予想(2003年1月1日~2003年6月30日)を、下記のとおり修正いたします。

#### 1. 2003年度中間期業績予想〔連結〕の修正(2003年1月1日~2003年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	20,800 (+23.4%)	1,400 (+61.7%)	480 (+75.8%)
今回修正予想(B)	25,100 (+48.9%)	—	—
増減額(B-A)	4,300		
増減率	20.7%		
(ご参考) 2002年度中間期実績	16,860 (△2.6%)	866 (△49.2%)	273 (+5.7%)

( )内のパーセント表示は対前年同期比増減率です。

## 2. 業績予想修正の理由

株式会社アイ・エックス・アイを始めとする、新規連結子会社 4 社の増分寄与に加え、ハード及びソフトウェア販売の増加が見込まれること等から、中間期の連結売上高予想を修正いたします。

なお、2003 年度通期の業績予想については、連結および単体ともに、期初見通しから変更ありません。

以上

### 〔見通しに関する留意事項〕

本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定、及び確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等さまざまな要因によって、実際の業績は見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

お問い合わせ先： **株式会社シーエーシー**  
**広報 I R 室（酒匂、井上）**  
TEL： 03-3263-8955  
E-Mail：[ir@cac.co.jp](mailto:ir@cac.co.jp)

平成 15 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社アイ・エックス・アイ  
 コード番号 4 3 1 3 (大証 ヘラクレス)  
 本社所在地 大阪市淀川区西中島 6-1-1  
 問 合 せ 先 責任者役職名 代表取締役専務  
 管理 本 部 長  
 氏 名 船 越 尚 士  
 ( T E L ) 06-6309-0228  
 ( U R L ) <http://www.ixi.co.jp>

## 中間期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 15 年 5 月 6 日の決算発表時に公表した中間期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

### 記

1. 平成 16 年 3 月期単独中間業績予想数値の修正 (平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 9 月 30 日)  
(金額の単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,000	199	108
今回修正予想 (B)	4,450	330	180
増減額 (B - A)	1,450	131	72
増減率 (%)	48.3	65.8	66.6
(参考) 前年同期 (平成 15 年 3 月期中間期) 実績	1,489	54	8

2. 平成 16 年 3 月期連結中間業績予想数値の修正 (平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 9 月 30 日)  
(金額の単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,000	199	108
今回修正予想 (B)	4,450	330	180
増減額 (B - A)	1,450	131	72
増減率 (%)	48.3	65.8	66.6
(参考) 前年同期 (平成 15 年 3 月期中間期) 実績	1,492	53	5

3. 修正の理由

当第 1 四半期におけるわが国経済は、リストラ等の経費削減による企業収益の回復や設備投資復調の兆しがみられたものの、失業率は高水準にあり個人消費も低調に推移するなど、依然厳しい状況が続きました。

当社におきましては、主力である情報サービス事業において、前期に注力した新規顧客の獲得、販路の拡大が寄与し、平成 16 年 3 月期中間期の予想売上高は 4,450 百万円 (前回予想比 48.3% 増) となりました。

連結中間業績予想数値の修正は、連結財務諸表提出会社 (当社) の業績修正に伴い、連結業績予想修正を行うものであります。

通期 (平成 16 年 3 月期) の見直しにつきましては、業績予想を見直す必要が生じた場合には、適時に見直し数値を開示する予定であります。

以 上